

7・8月 行事予定

【7月】

夢・希望・未来 笑顔いっぱい希望が丘！

日	曜	朝	学校行事等
1	水	ぐんぐんタイム	
2	木	朝学習	個人面談
3	金	大縄集会	避難訓練 個人面談 SC 来校日
4	土		
5	日		
6	月	読書タイム	個人面談
7	火	朝学習	
8	水	ぐんぐんタイム	
9	木	朝学習	避難訓練予備日
10	金	集会	委員会活動 SC 来校日
11	土		【希望が丘地区センター絵画展示】 7月6日(月)～7月20日(月) 各クラス1名の作品が展示されます。
12	日		
13	月	読書タイム	
14	火	希望っ子メロディ	クラブ活動
15	水	ぐんぐんタイム	
16	木	朝学習	大掃除
17	金	プール納め・朝会	給食終了
18	土	夏季休業(～8/26)	【7月の目標】 ☆生活目標 きれいな学校にしよう ☆保健目標 夏を健康・安全に過ごそう ☆給食目標 好き嫌いをなく食べよう
19	日		
20	月		
21	火		子ども会議(南希中ブロック)

【8月】

27	木	朝会	給食なし
28	金	朝学習	6年発育測定 給食なし 子ども会議(旭区)
29	土		
30	日		
31	月	読書タイム	5年発育測定 給食開始

許可するもの 【暑さ対策について】 許可しないもの

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・冷やしタオル ※手洗い用のタオルとの兼用は不可。 ・日傘 ※保護者の依頼があった場合のみ。 ・ネッククーラーのような小物グッズ | <ul style="list-style-type: none"> ・小型扇風機など壊れやすいもの ・高価なものなど |
|--|---|

お知らせ

☆個人面談☆

6月29日(月)から、個人面談が始まっています。短い時間ですが、お子さんの成長のための有意義な時間とさせていただきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。



☆SC 来校日☆

7月3日(金) 9:35～16:15

7月10日(金) 9:35～16:15

SC(スクールカウンセラー)に相談を希望される方は、児童支援専任または副校長まで、SSW(スクールソーシャルワーカー)に相談を希望される方は、児童支援専任までお申し込みください。

☆落とし物コーナーの処分について☆

落とし物コーナーにある持ち主が見つからないものに関しましては、夏休み前に処分します。冬休み・春休み前も同じようにいたします。落とし物コーナーは、中央階段1階のところですが、個人面談等で来校した際に、ご確認ください。また、お子さんの持ち物への記名のご協力をお願いします。

☆夏季休業中の課題について☆

各学年の内容や自由課題については、今後配付されるものをご確認ください。今年度は、1年生が冊子を使い、他の学年はAIドリルとなっています。個別支援級の児童は、個々に合わせた内容になっています。「サマーチャレンジ」は、自由課題に含まれ、取り組みたい子のみ取り組むこととなりますが、子どもたちの探究心や粘り強さ、計画力や調整力など様々な力を総合的にのばすよい機会と考えています。ぜひ夏休みだからこそ取り組めることに取り組んでみてください。

☆横浜子ども国際スピーチコンテスト☆

6月24日(水)に旭公会堂で「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 旭区審査会」がありました。「個性」をテーマに、一つひとつの言葉に思いをこめながら発表してきました。

☆着任者紹介☆

業務アシスタントとして、6月1日より伊藤しのぶさんが勤務されています。

☆夏季休業中の連絡について☆

8/3(月)～8/16(日)の2週間は、夏季学校閉庁日とさせていただきます。緊急の用件(児童の安全に関わるものなど)に関しましては、こちらにご連絡ください。

西部学校教育事務所 045-336-3743

学校だより



7、8月号

きぼう

2026年 7月 1日
横浜市立希望ヶ丘小学校

「子どもを大切にすること」 - 学校の真ん中は「子ども」 -

学校長 大平 はな

4月に着任してから『子どもを大切にすること』とはどういうことかという問いを、私は毎日考えています。教職員一同、その言葉を大切に、日々誠実に教育活動に当たっていますが、目まぐるしく変化するこれからの社会を見据えると、その意味を問い直し、更新していくことが重要だと感じるからです。私たち大人はこれまでの「教育観」や、「原体験」とらわれがちですが、本当に大切にすべきは目の前の子どもたち一人ひとりです。子どもを学校の真ん中に据え、教育や学校づくりを見直す必要があると考えます。

先日、6年生と東京見学に出かけました。国会議事堂や科学技術館の見学を通して、子どもたちは本物と出会い、学校や資料だけでは得られない学びや気づきを持ち帰ってきました。そして、この日、子どもたちが持ち帰ったもう一つのお土産があります。それは、「心の成長」です。日常とは異なる環境の中で、「自分の事は自分で行う」「仲間と協力する」「役割を果たす」「時間や約束を守る」等、責任感や判断力を発揮する場面を多く経験しました。もちろん、うまくいかない場面もありました。楽しいあまり声の大きさが場にそぐわなくなってしまったこと、時間の見通しが甘く、集合や出発が遅れてしまったこと…。その際、引率の教員は、その場ですぐに答えを教えたり、一方的に指示したりするのではなく、「周りを見て、考えてごらん。君たちなら気付けるよ。」「次は挽回できるチャンスだよ」と、子どもたち自身の気づきと判断を引き出すようにしていました。その言葉を受けて、子どもたちは自ら周囲に目を向け、仲間と声を掛け合いながら、少しずつ行動を変えていきました。失敗を次につなげようとする姿、公共の場、集団行動においてよりよくあろうとする姿がそこにありました。

私はここに「子どもを大切にすること」姿を見たように思いました。それは、子どもを信じ、その力が発揮される瞬間を待ち、支え続けるという姿です。多様な人々と共に生きる力は、学校でこそ育てられると言えます。子ども同士をつなぎ、学び合いが生まれる環境を整えることが、私たちの役割です。これからも保護者の皆様、地域の皆様とともにこの問いに向き合い続け、子どもが主役、子どもが輝く学校づくりを進め、「生きる力」を育ててまいります。